

息軒だより

第51号

発行 宮崎市安井息軒記念館
〒889-1605
宮崎市清武町加納甲3378-1
TEL 0985-84-0234
FAX 0985-84-2634
e-mail: sokken.yasui@pic.bbq.jp
<https://yasuisokken.jp>

秋の企画展「安井息軒、その人となり」が終了しました。



幕末・明治、日本随一の学者でありながら、無欲恬淡（むよくていたん）、権勢に媚びず、名誉も追わなければ格式にも拘泥することもしなかった息軒。ただ学者としての矜持と学問への探究心は生涯尽きることがなかった息軒ですが、今回はその学問から少し離れて息軒の素顔を追った企画です。自身の学識を驕らず、弟子の考えや個性もしっかりと受け止め、時には彼らに対して父のような心持で接しています。息軒という人物を追うと、学者としての偉大さと共に儒教の仁の精神ともいべき他人を思いやる心や人間愛にあふれていることに気づかされます。

寛容な精神は学問、教育、人に対しても生かされ、生涯を通して誠実で無欲で義を重んじ、少し剛直ですが、公平無私の心で周囲の人々と接していく姿はさすがささえ感じます。息軒と出会った人たちは、武士であれ農民であれその愛すべき人間性に魅了されていたのではないかと思います。今回はそんな息軒の姿を紹介しています。人柄に触れることで、より身近に息軒を感じてもらえるのではないのでしょうか。

東京、埼玉、静岡、山口、長崎と県外からの来館もあり、多くの方にご観覧いただいています。お時間があれば、どうぞお立ち寄りください。

次回、冬の企画展は、1月24日（土）からの開催となります。



宮崎大学附属図書館 移動展示

10月1日から17日まで、宮崎大学附属図書館で安井息軒記念館の移動展示を行いました。令和5年度の企画展「息軒の娘—安井息軒の教育論—」のパネルを展示しました。より多くの人に記念館の展示を見ていただける機会となりました。



第2回記念館講座



9月13日（土）に第2回目の記念館講座「延岡藩の弟子の秀逸、原時行そして内藤政挙の政治」が行われました。講師は高鍋町教育委員会社会教育課の古林直基氏です。本講座では、延岡藩主内藤政挙と当時中老であった原時行の政治について講話されました。内藤政挙と原時行は安井息軒の元で学んだという記録が残っており、とくに内藤政挙は息軒と個人的に交流していたことがわかっています。あまり機会のない延岡藩の話を、受講者の方は興味深く聞いておられました。

第3回記念館講座



10月26日（日）に第3回目の記念館講座「安井息軒先生碑銘について」が行われました。講師は宮崎大学教育学部教授山元宜宏先生です。記念館にも展示されている息軒の墓碑銘の碑文を読んでいく講座でした。展示してあることは知っていても内容まではよく知らない、という方も多いでしょう。その碑文の内容を丁寧に解説してくださいました。書き下しや口語訳は記念館HPにも掲載しておりますので、興味のある方はぜひご覧ください。

第4回記念館講座



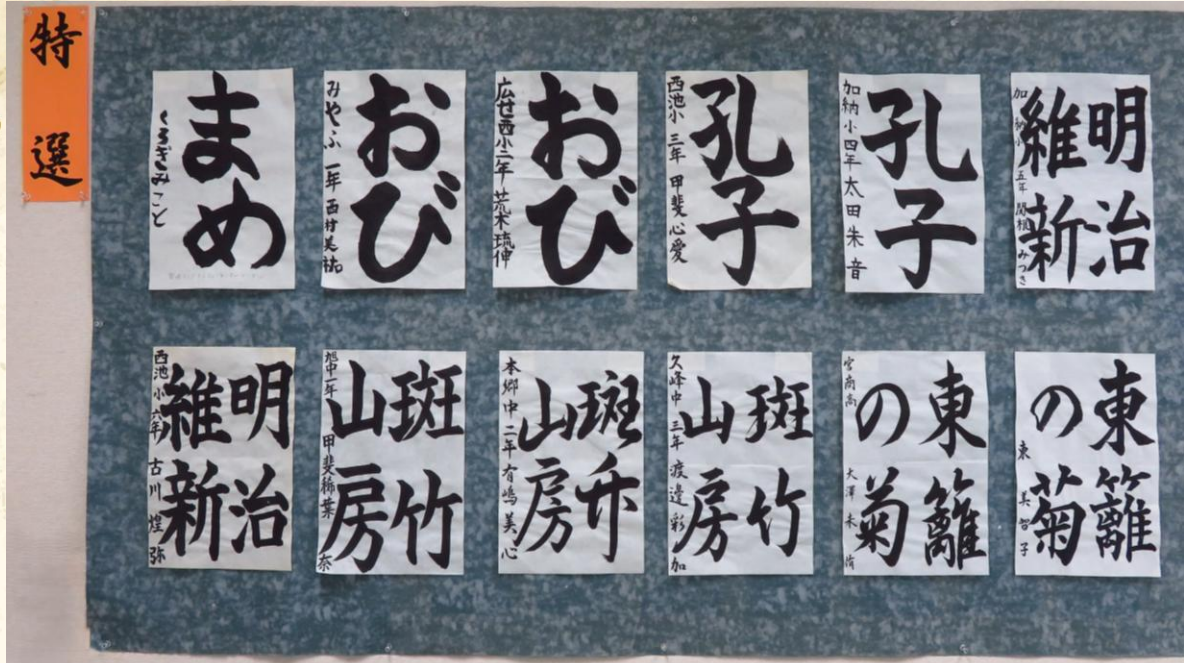
11月8日（土）第4回目の記念館講座「活躍した安井息軒の門人100人」が行われました。講師は安井息軒顕彰会の諸岩則俊氏です。

諸岩氏は三計塾の門人だけでなく、飢肥時代や昌平黌、佐倉藩校の頃の人物たちまで入念に調べ上げた資料を提供してくださいました。三計塾の門下生を出身地を分類した資料からは、多くの藩士が息軒のもとで学んだのかがよく分り、息軒の影響力を改めて感じることもできる講座となりました。

安井息軒顕彰書道展 特選作品

令和7年度安井息軒顕彰書道展に多くの応募作品が集まりました。応募総数が862点、入賞作品は182点となりました。題字は未就学児の部が「まめ」、小学1・2年の部が「おび」、小学3・4年の部が「孔子」、小学5・6年の部が「明治維新」、中学生の部が「斑竹山房」、高校生・一般の部が「東籬の菊」です。特選に選ばれた12作品を紹介します。

応募いただいた皆様、誠にありがとうございました。



コラム『読書餘適』

安井息軒の紀行文『読書餘適』の連載第2回目です。今回は前回に引き続き、栃木での場面です。7月7日から8日にかけて日光東照宮を参拝しています。息軒は旅の中での食べ物や飲んだ酒のことをよく書いています。日光東照宮への道すがら清酒が手に入ったため、喜んで飲んだというようなことが書かれています。ここまでの道中に飲んだ酒は田舎のにごり酒で臭すぎて口に合わないことが多かったようです。そんなこんなで日光市にたどり着き、7日に中禅寺（世界遺産「日光山輪王寺」の別院）を詣っています。そして中禅寺湖の北側にある男体山に向かって歩いて行きます。

7月8日に日光東照宮にたどり着きます。その場面を一部紹介します。

八日。晴。烈祖及び猷祖の廟を拝す。三面に溪を帯し、後ろに重山を負ふ。乃ち巍然たる一城也。（中略）嗚呼海内昇平、二百五十年、山椒海陬、鼓腹して以て楽しむ。即ち散すること予のごとく、亦た山水を放浪して以て其の性を盡くすを得たり。今の世を生くる者、其の自る所を思はざるべけんや。

日光東照宮を参拝した息軒は、徳川家康公と徳川家光公の廟を参拝します。日光東照宮の佇まいに圧倒され、「巍然（ぎぜん）たる一城也」（堂々とした一大名城である）と感心します。日光東照宮の様子を見たあと、「今の世を生くる者、其の自る所を思はざるべけんや。」（今の泰平の世を生きるものは、それをもたらすものについて考えなければならない）と、思いを馳せます。息軒が当時の日本の世について、旅先でも思慕に暮れていたことが分かります。

講座・イベント情報

○冬の企画展

1月24日（土）～3月29日（日）

「息軒の外交論」

息軒は書簡や著書などで、西欧諸国の軍事力や日本に対する思惑を冷静に分析しています。息軒が主張した対抗策について解説します。

○安井息軒記念館講座 毎土曜日 10:00～11:45

第6回目 12月20日 「平部嶠南と清武の人々」

講師：日南市教育委員会文化財担当官 長友禎治 氏

第7回目 2月7日 「息軒の外交論」

講師：国立大学法人 広島大学文学部 中国思想文化学
准教授 青山大介 氏
(宮崎市安井息軒記念館 学芸員 久保田)

○呈茶

茶室「香梅庵」にて無料でお茶お菓子を振る舞います。

1月31日（土）～2月8日（日） 13:00～15:00

※2月2日（月）は休館日のため呈茶もお休みです。

1日定員30名 先着順 事前予約不可



○息軒ふるさとウォーク

日時：3月1日（日） 9:00～12:00

中野から加納の史跡を巡ります。※詳細なルートや申込みについては順次お知らせいたします。



講座・イベント・団体見学のお申し込み、お問い合わせは窓口および電話・FAX・メールにて受け付けております。
また、出前講座のお申し込みも受け付けております。

講座・イベントは、日程および内容が変更になる場合がございますのでホームページで最新情報をお知らせしております。ご確認くださいませ。



HP



Instagram



Facebook